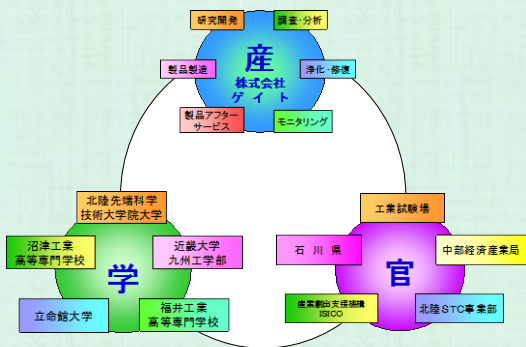


「ゲイト」オリジナルバイオ

「ゲイトの微生物」って？ ここがスゴイ！



① 産学官連携開発の 「オリジナル」微生物



大学や公設試験場と共同開発、高い油分解能力を確認。
日本国内から採取した「新規」油分解微生物。
特許5件取得（うち2件は石川県と共同特許）。

微生物の特性に応じて「動植物油用」「鉱物油用」に区分。
Acinetobacter属・Rodococcus属等10種以上を保有。

② 「純国産」微生物の 「高品質」製品

日本国内から採取した天然微生物を
日本国内で純粋培養した高品質製品

- 日本国内で採取した天然微生物
だから...
 - ・海外微生物を国内解放する生態系影響の危惧がない！
 - ・国内では使用風土にばっちり適合！高い効果を発揮！
- 日本国内で純粋培養
(雑菌を含まない高純度製品)
だから...
 - ・含まれる菌は「全て」有用菌、油分解に活躍します！
 - ・病原菌が混入する心配なし！

※安価な製品には、雑多に培養されているものもあります。
その場合、全てが有用な菌ではない、病原菌が含まれる
可能性もあります。

③ 「生きた微生物」で 油類を分解

ゲイトの微生物製品は「生きた微生物」で
油を水と二酸化炭素に分解

- (排水処理では)「微生物製剤」と謳っていても、実際は
微生物が出す「酵素」の製品も多くあります。
「酵素」は一種の化学物質なので、ある特定の分解反応
しかおきません。油が「完全に」分解されない場合があります。
- (油吸着分解材では)「油を分解する微生物を含む」とし
ながら、使用方法を見ると「油吸収後、土壌に混ぜ込ん
でおけば自然の微生物で分解されます。」の記載も(?)

ゲイト製品は「生きた微生物」が含まれているので、
生きるための生体反応で連続的に分解、油を水と
二酸化炭素まで「完全分解」します。

※一般論であり、他社製品を否定するものではありません。

④ 確かな「安全性」

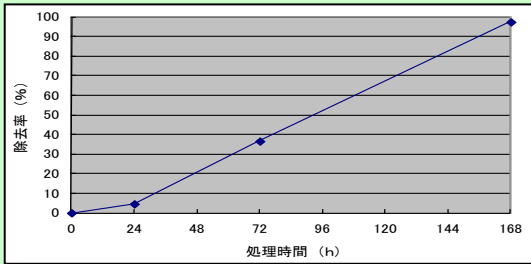
各種安全性試験も実施済み
浄化分野では国の指針にも適合

- 遺伝子組換えではない天然微生物
自然界に生息する微生物をそのまま使用、遺伝子
組換えは行っていないので、予期せぬ変異はあり
ません。
- 各種安全性試験実施
 - ・マウス経口毒性
 - ・水生生物(メダカ)生育試験
 - ・ウニ受精率影響試験
 - ・植物生育試験
 いずれの試験においても有意な影響はありません。
- 抗生物質感受性試験
万一の異常増殖・感染にも有効な抗生物質(=薬)
があることも確認済みです。

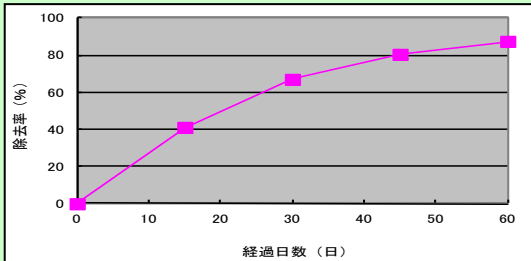
十分な安全性が確認され、浄化分野では
国の指針適合も取得しました！

ゲイト微生物 分解能力

【 鉱物油 】

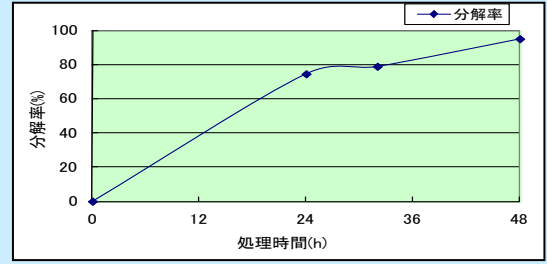


水試料 ジェット燃料 初期濃度:3,000mg/l
7日間 分解率 97.4%

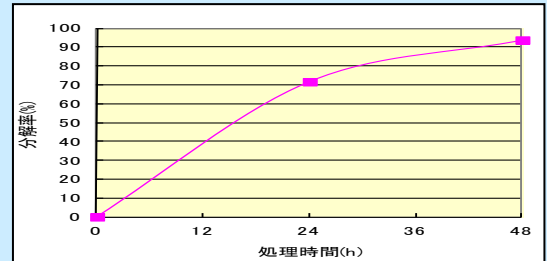


土壌試料 灯油 初期濃度:17,000mg/l
2ヶ月間 分解率 87.6%

【 動植物油 】



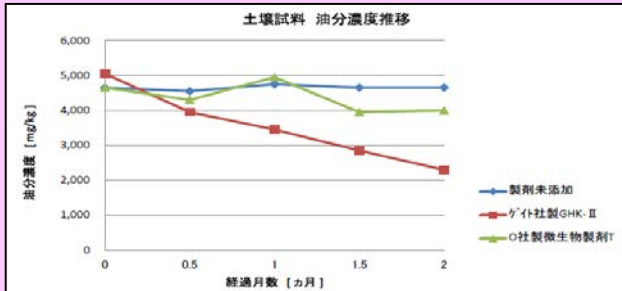
水試料 オリーブ油 初期濃度:1,500mg/l
2日間 分解率 95.0%



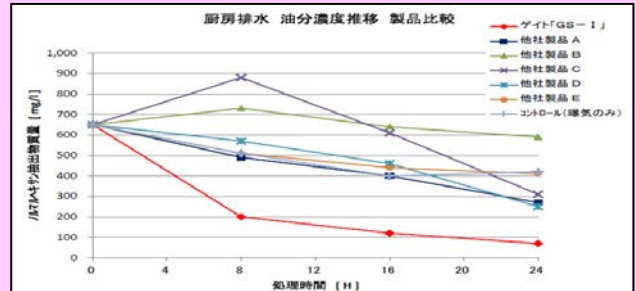
食肉加工場排水 牛・豚油 初期濃度:190mg/l
2日間 分解率 93.7%

他社製品 性能比較

【 鉱物油 】 土壌浄化 「GHK-II」



【 動植物油 】 厨房排水 「GS-I」



使用環境

- ★ pH : 5~9 (著しい酸・アルカリは菌死滅) ⇒ 多量の強アルカリ洗剤や殺菌剤・消毒液の使用は注意
- ★ 温度 : 5~40°C (低温;活動低下/高温;死滅) ⇒ 多量の熱湯を排水・高温多湿環境での保存等は注意
- ★ 塩濃度 : 3%以下 (通常の海水程度は適用可能) ⇒ 特殊な化学排水・過剰の栄養塩添加等は注意

公的認証・評価

経産省・環境省
「バイオレメディエーション利用指針」
適合 大臣確認 取得!



環境省
平成15年度
「環境技術実証モデル事業」
に採択!



※実証データは環境省HPから閲覧できます。

●製造元

バイオテクノロジーによる環境の浄化・修復

GATE co.,LTD

株式会社ゲイト
〒924-0878 石川県白山市末広二丁目55番地
TEL:076-274-0007/FAX:076-274-0177
E-mail:infor@bio-gate.jp

●販売店